

ただけで、よくわからなかつたが、もし私の想像のやうであつたなら、寧ろ、すぐそばにあるカーブの先端の小山を段切にして、その土で、バンキングした方が、一石二鳥の効果があつて、よかつたと思ふ。

阿蘇も、いまや、晴れやかな國際舞臺に上つたことではあるし、もし將來、機會に恵まれたならば、まづ曲線部の段切を實行して、疾走者の不安を除き、自動車事故の防止に努めて戴いたら、誠にありがたい。「道路構造に關する細則」によると、國道に於ける安全視距の標準は、百米である。わが大阿蘇山にも、その位の安全視距は、あつて良いではないかと思はれるのである。

## 水郷大橋の起工

### 千葉縣土木課

千葉縣香取郡佐原町と茨城縣稻敷郡本新島村の間利根川に架設せらるゝ水郷大橋の起工式が去る二月二十日千葉、

茨城兩縣知事の主催に依り内務大臣代理武井内務省土木局道路課長、眞田内務省東京土木出張所長及關係各内務技師、

千葉茨城兩縣會議長其他多數の來賓臨場の下に架橋現場に於て盛大に舉行せられた。本橋の起工は地方住民多年の翹望が解決せられたものであり之が完成の曉には千葉茨城兩縣間の交通情勢に劃期的な進展を齎らす事とも想像せらるるので此の機會に聊か本橋に就いての紹介を試み度いと思ふ。

本橋架設地點附近は八百年以前から渡船に依つて交通せられた場所と傳へられ古來下總常陸を連なる文通上の要衝に當つて居た。佐原を中心とする下總地方と對岸の潮來、鹿島、牛堀及水戸、石岡、土浦等一圓の地方との産業上の關係は昔から極めて密接なものあり有無相通じ相互に需要供



給の關係に立つてゐた。

#### 水郷大橋起工式の状況

現在に於ても其の關係は一層深く全國屈指の繭市場を有する佐原町に毎年集注する繭五十萬貫の中其の約半分は茨城地方の出荷にかゝり更に同地方産出の農産物にして佐原方面に移出されるものも甚だ多い。同時に佐原方面よりは多量の肥料を始め日常諸雜品等が茨城方面に移出されて居る状態である。然のみならず此地方一帯は所謂水郷の名に依つて天下に謳はるゝ名勝地で香取、鹿島兩神宮息栖神社の三社詣では言はずもがな佐原、小見川、潮來、土浦其他名勝地を巡遊する爲杖を曳く者年と共に増加し茨城方面より來る者は必ず千葉に入り千葉より入る者は茨城に出ると云ふ有様で其

の往來機を織るが如く頻繁である。それにも拘らず等の貨物を輸送し遊覽客を運んで兩岸地方の連絡を計る交通設備としては橋と道路が無い關係上船舶が唯一の機關に過ぎず全く近代交通に恵まれて居なかつたのである。緩慢な船舶は一面水郷の名に相應はしきものであるが今の世のスピード時代に自動車の利用の無いことは此地方開發の上にも遊覽客の利用の上にも甚だ遺憾なことであつた。

本橋架設に對する地方民の熱望は既に年久しきに亘るものがあつた。大正十五年六月佐原町の少壯實業家の一團が地元民の要望を代表して架橋實現の聲を擧げて以來幾多のエピソードを残しつつ白熱的な運動が續けられた。此間利根川の阿部内務技師が幾多の激勵並に調査上の援助等と與へられた事等も聞いて居る。千葉茨城兩縣當局に於ても夙に之が實現を意圖し歴代知事中には現場を視察せる事もあり昭和七年六月には時の大久保千葉縣知事、君島茨城縣知事は佐原町に會合して本橋架設問題の協議を遂げ其の實現を圖る事に意見の一致を見た。次で岡田現千葉縣知事の時

代に入るや本問題に就き異常な努力が拂はれた結果機運が急速に進展し千葉茨城兩縣負擔の下に架橋工事を實施する事に兩縣の間に協定が成立し更らに本工事は政府に於て施行する時局匡救事業の一部に加へられて國庫の補助を受けることにもなり兩縣々會に於て無事實行豫算が議決せらるゝに至つた。總豫算額は四拾五萬圓で其内容は國庫補助額拾五萬圓、茨城縣負擔額拾萬圓、千葉縣負擔額貳拾萬圓(内五萬圓は佐原町負擔)である。工事は昭和八、九年度の二箇年繼續事業で管理者たる千葉縣知事に依り施行せられる事になつてゐる。尙本工設計の概要を記すれば左の如くである。

橋長 五五三・〇米

有効幅員 六・〇米

徑間割 全部で一六徑間に分つ。徑間割の決定に際し

ては治水關係は勿論近き將來に於て内務省が施行する筈になつて居る利根川低水工事の計畫と關係あるを以て内務省より種々指示せら

水郷大橋

一五二

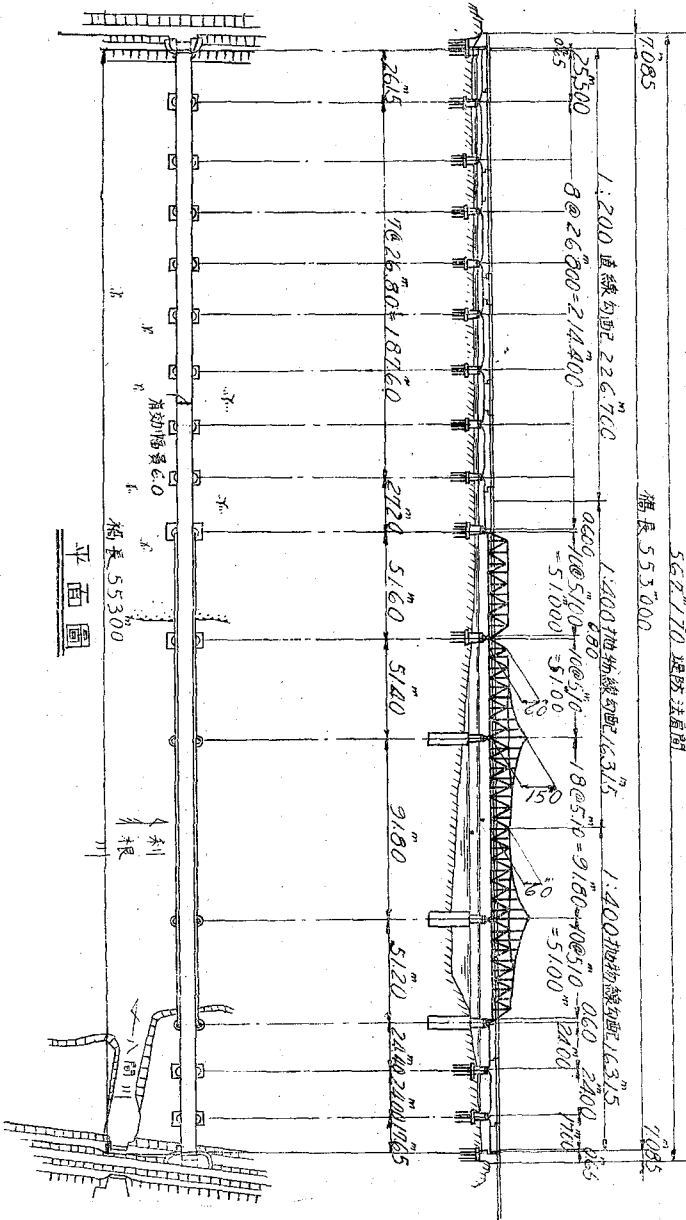
茨城縣

稻敷郡水郷村大字中島

側面圖

千葉縣

香取郡佐原町大字佐原



平面圖

るゝ所があつた。

種々比較をなしたるも附近の風光との調和をも考慮し圖に換ぐる如きものを採用した。

## 型式

(イ)ゲルバー式鋼樑桁(支間五一・〇米、九二・

八米、五一・〇米)

三徑間

(ロ)單鋼樑桁(支間五一・〇米)

一徑間

(ハ)ゲルバー式鋼鈹桁(支間一七・〇米、二四・

〇米、二六・八米、二五・五米) 一二徑間

## 床部

鐵筋コンクリート床版

## 橋面

(イ)縦斷勾配 ゲルバー式鋼樑桁橋中央點を

頂點とし左右一六三・一五米の間四百分

の一拋物線勾配を挿入し殘餘を二百分の

一直線勾配とす

(ロ)横斷勾配 五十分の一

(ハ)橋面鋪裝 アスファルトコンクリート厚

五糎

## 橋臺

扶壁式鐵筋コンクリート造抗打基礎

## 橋脚

鐵筋コンクリート造一五基。内三基は鐵筋コ

ンクリート井筒基礎。一二基は抗打基礎

右の内上部構造は目下設計を急いで居り下部構造築造工事は株式會社飛鳥組請負の下に二月十八日より開始せられて居る。

尚本工事は前述せる通り時局匡救土木事業の一部となつて居る關係上千葉茨城兩縣に跨り成る可く多くの地元民を工事に従事せしめ時局匡救の趣旨を徹底せしむる豫定である本記事を終るに當り中川内務技監、眞田内務省東京土木出張所長其他内務省關係各官が本橋の實現並に實施設計に關し絶大の御援助と御指導を賜つた事に付深甚の御禮を申上ぐる次第である。